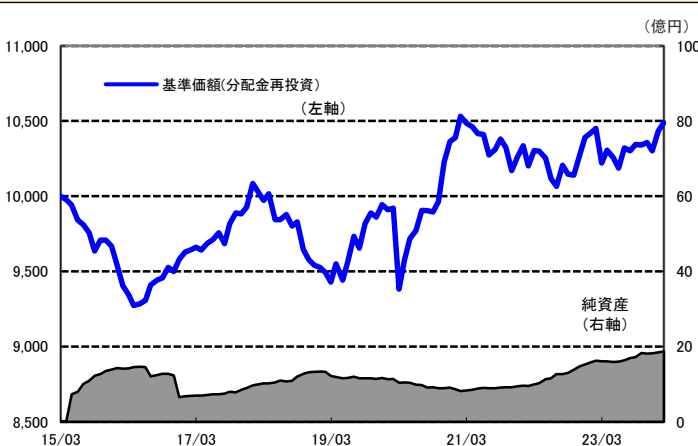


運用実績

2024年2月29日 現在

運用実績の推移

(設定日前日 =10,000 として指数化; 月次)



・上記の指数化した基準価額(分配金再投資)の推移および右記の騰落率は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額を用い、分配金を非課税で再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに指数、騰落率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

基準価額※ 10,448 円

※分配金控除後

純資産総額 18.7 億円

- 信託設定日 2015年4月1日
- 信託期間 無期限
- 決算日 原則12月6日
(同日が休業日の場合は翌営業日)

騰落率

期間	ファンド
1カ月	0.5%
3カ月	1.3%
6カ月	1.8%
1年	0.4%
3年	-0.4%

騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

設定来 4.9%

分配金(1万口当たり、課税前)の推移

年	12月	12月
2023年	10 円	10 円
2022年	10 円	10 円
2021年	10 円	10 円
2020年	10 円	10 円
2019年	0 円	0 円

設定来累計 40 円

設定来 = 2015年4月1日以降

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
※ファンドの分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

ブルーベイ・ファンズ - ブルーベイ・インベストメント・グレード・アプジョイント・リターン・ボンド・ファンド(クラスS-JPY)の資産内容

2024年2月29日 現在

ポートフォリオ特性値

平均格付	BBB+
平均最終利回り	5.4%
平均デュレーション	-2.1年
平均スプレッド・デュレーション	0.9年
組入銘柄数	205銘柄

・左記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等(現金を含む)の各特性値(最終利回り、デュレーション、スプレッド・デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものと、現地通貨建。また格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。
・デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。
・平均格付とは、基準日時点で外国投資法人が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該外国投資法人の発行する受益証券に係る信用格付ではありません。

通貨ポジション

通貨	純資産比
ロング(買い建て) 上位3通貨	
ユーロ	1.8%
日本円	1.5%
チェコ・コルナ	1.3%
ショート(売り建て) 上位3通貨	
スイス・フラン	-2.1%
コロンビア・ペソ	-2.0%
英ポンド	-1.3%

・実質的な通貨ポジションにかかわらず、原則としてファンドの純資産総額をユーロ換算した額とほぼ同額程度のユーロ売り円買いの為替取引を行なうことを基本とします。

国・地域別配分

国・地域	純資産比	スプレッド・デュレーション
フランス	14.8%	0.9年
米国	14.1%	0.7年
メキシコ	11.5%	0.4年
ドイツ	9.9%	0.5年
ルーマニア	6.1%	0.6年
その他の国・地域	35.0%	-2.1年
その他の資産	8.7%	-
合計	100.0%	0.9年

・国・地域は、原則発行国・地域で区分しています。
・スプレッド・デュレーションとは、債券価格のスプレッド(クレジット債利回りと国債利回りの差)変動に対する感応度(変動率)を表しており、この値が大きいほどスプレッド変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

組入上位5銘柄

銘柄	国・地域	債券種別	純資産比
Mexican Bonos	メキシコ	国債	5.2%
Mexico Government International Bond	メキシコ	国債	2.2%
Visa Inc	米国	社債	1.7%
Iceland Rikisbref	アイスランド	国債	1.6%
BNP Paribas SA	フランス	社債	1.2%
合計			11.9%

格付別配分

格付	純資産比
AAA	0.0%
AA	2.6%
A	13.9%
BBB	56.8%
BB	13.2%
B	2.0%
CCC以下および無格付	2.8%
その他の資産	8.7%
合計	100.0%

・格付はS&P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の低い方の格付によります。

※当資料は、外部委託先であるRBCグローバル・アセット・マネジメント(UK)リミテッドからのデータを使用して作成しております。

ファンドは、価値のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡りする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員 / 一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

下記の事項は、この投資信託をお申込みされるご投資家の皆様に、あらかじめご確認いただきたい重要な事項としてお知らせするものです。

お申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)の内容を十分にお読みください。

投資リスク

ファンドは、外国投資法人の発行する受益証券等への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等の影響による当該債券等の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、為替、債券、金利、クレジット、又は各種指数等を参照するデリバティブ取引を活用しますので、為替、市場金利、各種参照指数等の変動及び投資対象やデリバティブの取引相手先の信用度に対する市場参加者の認識の変化等の影響を受け、基準価額が下落することがあります。また、デリバティブ取引等のロング・ポジション、あるいはショート・ポジションを構築することにより、投資対象市場の方向性によらず収益の獲得を目指しますので、投資対象市場が上昇した場合でも、収益が得られない場合や損失が発生する場合があります。また、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも、取引先リスクなどがあります。

※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

ご購入時手数料	ありません。
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年0.418%(税抜年0.38%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 ○実質的にご負担いただく信託報酬率 年1.158%程度(税込) *ファンドが投資対象とする外国投資法人の信託報酬を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。
その他の費用・手数料	組入る有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
信託財産留保額 (ご換金時)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

＜分配金に関する留意点＞

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期末決算日の基準価額と比べて下落することになります。
- 投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり幅が小さかった場合も同様です。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社
★サポートダイヤル★ 0120-753104 (フリーダイヤル)
＜受付時間＞営業日の午前9時～午後5時
★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>

＜委託会社＞野村アセットマネジメント株式会社

[ファンドの運用の指図を行なう者]

＜受託会社＞野村信託銀行株式会社

[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、流動性のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

先月の投資環境

○米国10年国債利回りは、上旬は1月の米雇用統計において市場予想を上回る雇用者数や賃金の伸びが示されるなど米労働市場の堅調さを示す指標を受け、利回りは上昇(価格は下落)しました。中旬は、1月の米CPI(消費者物価指数)上昇率が市場予想を上回り、FRB(米連邦準備制度理事会)による早期利下げ観測が後退する中で、利回りは上昇しました。下旬も、FRBが公表した1月のFOMC(米連邦公開市場委員会)議事要旨において、利下げに対するFRBの慎重な姿勢が確認されたことを背景に、利回りが上昇する局面があり、利回りは月間で上昇しました。

○欧州10年国債利回りは、1月の米雇用統計が堅調であったことや、1月のECB(欧州中央銀行)理事会議事要旨で利下げについて討議するのは尚早との認識が共有されていたと示されたことなどから、早期利下げへの期待感が後退し、月間で利回りは上昇となりました。

○ドル・円相場は、月間で円安・ドル高となりました。上旬は1月の米雇用統計において市場予想を上回る雇用者数や賃金の伸びが示されたことや、日銀副総裁がマイナス金利解除後も緩和的な金融環境を維持していく考えを示したことで、円安・ドル高となりました。中旬は、1月の米CPI上昇率が市場予想を上回り、FRBによる早期利下げ観測が後退する中で、ドル高が進みました。下旬は、FRBが公表した1月のFOMC議事要旨において、利下げに対するFRBの慎重な姿勢が確認されたことを背景に、円安・ドル高が進む局面もありました。

先月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

○月間のファンドの騰落率(分配金再投資)は、+0.52%となりました。

○先月末時点のポートフォリオの状況は、最終利回りは5.4%、平均デュレーション^{*1}(金利感応度)は-2.1年、平均格付はBBB+となっています。

*1 デュレーションとは、市場金利変動に対する債券価格変動の感応度を示す指標です。

○格付別配分は、BBB格の比率を高めました。

○国別配分は、フランス、米国などの比率を高めました。通貨ポジションは、ユーロ、日本円などをロング(買い建て)し、スイス・フラン、コロンビア・ペソなどをショート(売り建て)しました。

○金利戦略は、継続保有する日本金利のショート・ポジションはマイナスとなった一方、英国金利のショート・ポジションがプラスとなりました。社債戦略では、個別銘柄選択による寄与がプラスとなりました。

今後の運用方針 (2024年2月29日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

○マクロ経済見通しにおける不確実性は依然高止まりしています。市場の利下げ期待はここ数ヶ月で幾分か落ち着いたものの、依然として年内に複数回の利下げ実施が織り込まれています。政策金利の今後の道筋は、インフレやこれまで以上に成長の状況による影響を受けることになるでしょう。この先より重要となるのは、利下げ開始のタイミングというよりも、政策金利の軌道であると考えています。景気のハード・ランディング(経済が急失速すること)を予想するのであれば、市場はより積極的な利下げを再び織り込む可能性がある一方、ソフト・ランディング(経済の軟着陸)となれば、1990年半ばに見られたような、より浅い利下げサイクルとなる可能性が高いと見ています。米経済の成長はこの先減速が予想されるものの、相対的に底堅いことを踏まえ、景気はソフト・ランディングとなる可能性が高いと考えています。対照的に、欧州では成長ははるかに低迷しているように見え、現時点でECBは米国よりも早く利下げを開始する可能性が高いと見ています。しかし、3月の主要中央銀行政策会合に関しては、日銀による利上げが実施される可能性があるとも見ています。このような見方を踏まえ、債券市場においては、ドイツ及び米国債利回りが適正な水準にあると考えており、より機動的な、利回りの上昇と低下(価格は上昇)のどちらにも備えた運用を行なう方針です。英国金利に関しては、高インフレや総選挙のための減税を踏まえ、金融政策の緩和が遠のいているように見えることから、ショート・バイアスを維持しています。また、さらなる政策正常化への動きが今後数回の政策会合で見られる可能性があるとの見方を踏まえ、日本金利のショートも選好しており、2024年中に政策金利が0.75%まで引き上げられると予想しています。

○社債市場に関しては、投資適格債に関してはやや前向きな見方を維持しており、政策金利がピークに達したという認識から、魅力的な利回り水準からみられる底堅い需要や、米欧社債市場ともに純発行額が今年マイナスとなる見込みであることから、底堅い需給環境が下支えになると考えています。成長の減速は引き続きリスクであるものの、大半の発行体のスプレッド(利回り格差)は既にそのリスクを織り込み、景気減速を乗り切るのに十分な状態にあると考えています。

○当ファンドは、新興国を含む世界各国の投資適格格付債券^{*}に投資するとともに、デリバティブ(金融派生商品)取引および為替予約取引等を行なう外国投資法人、および円建ての短期有価証券を実質的な投資対象とする投資信託証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行なうことを基本とします。

^{*}債券の投資適格格付は、ムーディーズ社もしくはS&P社、またはその他の格付機関による投資適格格付(BBB-相当格)以上とします。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込手続きについてのご確認や、投資信託をお申込みいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

野村ブルーベイ・トータルリターンファンド(野村SMA・EW向け)

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
野村証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号	○	○	○	○

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。